

適宜、図式化や必要に応じた行の追加をしてください。※別紙は不可とする

(様式3)

事業計画書

I 委託事業の内容

1. 事業名	今回、企画提案する事業の名称を記載してください。	終了日は、令和3年度内かつ全ての整理及び精算が完了できる日を記載してください。
2. 実施期間	令和 年 月 日() ~ 令和 年 月 日()	
3. 事業の趣旨・目的	生活文化等を取り巻く現状や課題を踏まえ、事業の目指すところを具体的にイメージできるように記載してください。 例) 本事業では... × × という趣旨のもと、× × をターゲットに据え、○●、□■、△▲を体験してもらうことを目的とする。なお、本事業は、参加者が無料で体験できるものとするが、より深く生活文化等に触れたい層に向け、有料のオプション体験も実施する。	
4. 事業の内容(3. を達成するための具体的な取組を記載すること)	(1) 本事業の実施に係る業務 公募要領や仕様書に記載された内容を踏まえた企画内容とし、具体的に記載してください。 例) ・日時: 令和○年○月○日(○) ~ ○月○日(○) ・会場: ○○○○○ ・内容: ○○○ ※仕様書 5.(1)①の各項目をどのように盛り込んでいるか明記してください。 ・コンセプト: ○○を知ることや体験することで、さらなる○○○・・・ ・有料事業: ○○○ ※有料事業も併せて行う場合、その内容を具体的に記載してください。	

(2) 本事業の周知等に係る業務

具体的な広報計画を記載してください。

例)

ポスター、チラシ、SNS(Facebook、Twitter等)、報道発表 等

(3) 本事業の成果報告、その他、必要とされる業務

仕様書にあるアンケート調査の他、参加者や、事業に関わる生活文化等の従事者に対する調査等、事業後の成果報告の具体案を記載してください。また、その他、必要とされる業務がある場合、それもあわせて記載してください。

成果報告の例)

・参加者に対してアンケート調査を実施し、その結果を踏まえた新生活の提案を盛り込む。

・本事業に協力した団体〇〇の講師やスタッフへ聞き取り調査を実施し、新しい層の参加者が何を求めているのか、生活文化等の現場にとってどのような知見を得られたか等、事業を通じて感じた手ごたえ等について報告する。

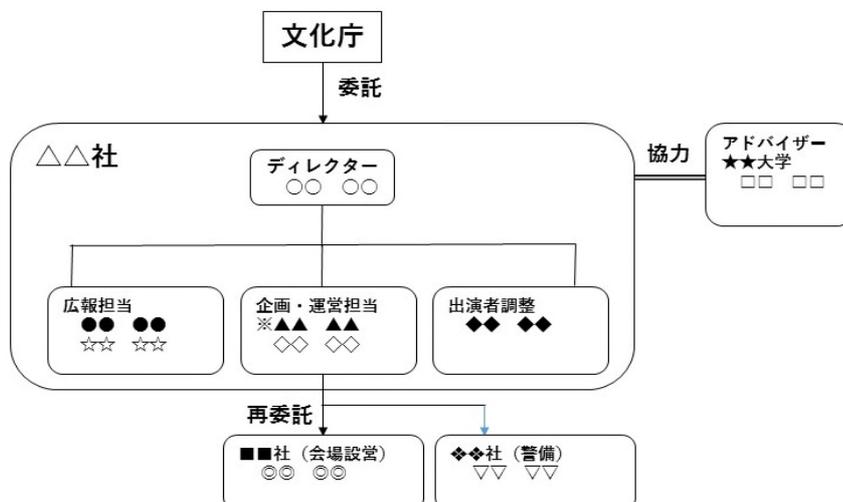
5. 課題項目別実施期間

業務項目	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
運営準備	→							
周知	→							
実施						→		
報告								→

※記載例

6. 事業を実施する業務体制について

下図のように事業を実施するにあたっての体制を記載してください。



7. 新型コロナウイルス感染症対策について

- ・本事業の参加者や従事者の新型コロナウイルス感染防止対策を具体的に記載してください。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大による緊急事態宣言の発令などで、事業が当初の予定どおりに開催できない場合の対応策を記載してください。

8. 事業を実施するに当たって工夫した点・具体的な取組

- 4. の(1)に記載した事業内容のうち、独自の工夫による企画内容や実施方法等の要点を抜き出して具体的に説明してください。

9. 期待される効果

事業の実施において想定される効果を具体的に記載してください。

例)

- ・短期的効果として、〇〇の効果が期待できる。
- ・中長期的効果として、〇〇の取組が継続することにより、〇〇の効果が期待できる。

10. 応募事業に類するこれまでの取組実績・成果

本委託業務を適切に遂行するためのノウハウや実績に該当する取組、またその実績や成果も含めて、具体的に記載してください。

11. その他特記事項

応募するに当たり、記載すべき事項がある場合は具体的に内容を記載してください。

例)

- ・本事業を元に、翌年以降、事業を自走化するために〇〇を計画している。

12. 今回応募する事業が過去に補助金や委託等を受けた実績

補助金等の名称	交付者	交付額	交付年度	事業名称

13. この事業について受ける協力等(共催、後援を含む。)

協力者	協力内容

14. 知的財産権の帰属



15. 再委託に関する事項

(1) 再委託

再委託の相手方の住所及び氏名	
再委託を行う業務の範囲	
再委託の必要性	
再委託金額(単位:円)	
	円

(2) 履行体制に関する事項

※ 再委託の相手方がさらに再委託を行うなど複数の段階で再委託が行われたときに記載

再々委託の相手方の住所及び氏名	
再々委託を行う業務の範囲	

16. 知的財産権及びノウハウの封印の記録

